

.....

うきたむ考古通信

.....

2021年6月号

■発行者 うきたむ考古の会
事務局 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 内
〒992-0302 山形県東置賜郡高畠町安久津2117
電話0238-52-2585 Fax 0238-52-4665

訃 報

前館長で「うきたむ考古の会」名誉会長の佐藤鎮雄氏が去る5月15日(土)19時27分に急逝されました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。佐藤前館長は充実した展示と見事なまでの図録作成に心血を注がれ、当館の発展に大きく寄与されました。ご功績に深く感謝いたします。次号の「うきたむ考古」は佐藤名誉会長の追悼号として会員の皆様から広く原稿を募ります。

館事業報告

♥「赤ちゃん手形をつくろう」を5月に開催しました。

●本館の恒例行事の「赤ちゃんの手形をつくろう」を新型コロナの感染拡大が止まぬ中でしたが、5月3～5日の3日間に短縮して開催いたしました。

昨年同様、感染防止策として3密とならない状況下で手形採取するため、15分に子ども3人とする完全予約制とし、付添は子ども一人に2人までとしました。参加者は感染拡大防止措置がとられている地域のある都道府県を除く地域にお住まいの方に限り、参加者は手指消毒後検温し、37.5度以上の方は入室をお断りすることとし、3歳以上はマスクを着用していただくことを条件としました。

今回も館職員と社会教育課の職員のみで対応し、職員は毎朝検温してその結果を、参加者が見えるところに貼り出し、参加者と手形採取者の間は透明シートで遮蔽のうえ、採取者はマスク、フェイスシールド、手袋を着用し、手形採取後は参加者の机、イス、手の触れたものをその都度アルコールで消毒し、手袋は廃棄するという、厳重な感染予防策をとりました。

この結果、参加総人数は1,118名、採取手形・足形は297個となり、昨年8月の4日間開催での参加人数1,049名、手形採取数311個に匹敵する成果を上げることが出来ました。

手形は当館での自然乾燥の後、6月前半に「創造の館」で陶芸同好会の後藤代表の手によつての電気窯で焼成され、8月1日以降にお渡しする準備が整いました。

なお、今年度は館主催事業の案内にも記載のとおり8月7日(土)～8月9日(月)に2回目を開催しますので、5月に参加できなかった方も含め、多くの方に参加いただきたいと思います。

館事業の一部が中止となりました

●高島町内と南陽市を初めとする置賜館内での新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、町当局からの「催し物」の中止要請を受け、5月29日(土)の体験学習「勾玉・弓矢・石器をつくろう」と5月30日(日)の「春の遺跡めぐり」が中止となりました。特に、多くの会員の皆様から参加の申し込みのあった人気事業の遺跡めぐりの中止はすべての準備が終わっていただけに、断腸の思いでした。来年度に同じコースで開催したいと考えています。

♥ガラス玉をつくろう

6月12日(土)に、今年1回目の「ガラス玉をつくろう」の体験講座がありました。4組9名の参加がありましたが、事業再開直後で宣伝不足もあったものと思います。

♥コースターをつくろう、古代風ブレスレットをつくろう

6月19日(土)に今年1回目の「コースターをつくろう」、「古代風ブレスレットをつくろう」がありましたが、参加者はこちらも3名と寂しい結果に終わりました。

展覧会のご案内

👁️特別テーマ展「小国町の考古学」 6月12日(土)～9月5日(日)

山形県の南西部に位置する小国町は北に朝日連峰、南に飯豊連峰を望み、全域が荒川流域となっています。このため、古くから、新潟方面との交流が活発な地域でありました。

考古学的にみると小国町は後期旧石器時代の前半期から縄文時代晩期まで、一部の時期に空白があるものの、ほぼ連続した生活痕跡がある山形県内では唯一の市町村であるといえます。また、縄文時代以降の遺跡がほとんど見つからない地域でもあります。小国町の旧石器時代の追究は1960～63年と、1972～73年の2時期の遺跡発見・発掘調査で大きく進展しました。

1960年に金儀右衛門氏の採取していた横道遺跡の資料に杉久保型ナイフ形石器があり、これが、同年11月の柏倉亮吉・加藤稔氏の発掘調査の契機となり、翌61年には平林遺跡が発掘され、62年春に名久井文明・佐々木洋治両氏が採集した資料の出土地東山遺跡が63年まで調査されました。

1972年には6月に小国高校の野口一雄教諭による岩井沢遺跡の発見を契機として、8月に小国高校と加藤稔氏が率いる山形大学による2次にわたる発掘調査が、11月には東山紺野遺跡の発掘調査も行われました。そして、12月には三須徳治氏、益田則雄氏の採

集品に注目していた野口教諭が黒曜石製の細石刃核を採取したことを契機に行われた発掘調査は翌 73 年春にも継続され、79 年にも加藤稔氏による調査が行われました。

縄文時代の探求は 1970 年に小国町教育委員会が建設省からの委託で実施した朝篠遺跡の発掘調査で本格化します。

1979 年からは県営ほ場整備事業が始まり 1981 年まで谷地・下野・墓窪遺跡の調査が県教委によって、団子山・蟹沢遺跡が町教委によって行われました。谷地遺跡からは縄文時代中期中葉の、下野遺跡からは中期後葉の、墓窪遺跡からは前期前葉、中期前半、中期末葉の、団子山・蟹沢遺跡からは中期末葉の住居跡や土器・石器が見つかりました。

1993 年からは横川ダム建設に伴う(財)山形県埋蔵文化財センターによる発掘調査が始まり、同年に古屋敷遺跡が、1995・97 年には野向、市野々向原、千野遺跡が、2006 年には下叶水遺跡の調査が行われました。古屋敷遺跡からは早期中葉、末葉、前期前葉の、野向遺跡からは前期・中期の市野々向原遺跡からは早期～晩期の、千野遺跡からは中期と後期の、下叶水遺跡からは後期から晩期の遺構と遺物が見つかりました。

今回、以下の資料(全 721 点)を展示しています。初めての展示となるものも少なくありません。会員の皆様にも是非御覧いただきたいと思ひます。

旧石器時代前半期

岩井沢遺跡——基部調整ナイフ形石器 6 点、石刃核 7 点、石刃 27 点、石刃技法接合資料 9 点、台形様石器 1 点、台形剥片 12 点、台形剥片接合資料 5 点、敲石 2 点

旧石器時代後半期(ナイフ形石器、尖頭器、細石刃)

湯の花遺跡——ナイフ形石器(東山型) 4 点、彫刻刀形石器(小坂型他) 9 点、彫刻刀形石器削片 9 点、搔器 10 点、石刃 22 点、ナイフ形石器(二側縁加工) 2 点、ナイフ形石器(杉久保型) 3 点、彫刻刀形石器(神山型) 4 点、錐 3 点、細石刃核 4 点、稜付スポール 1 点、スキー状スポール 1 点、細石刃 7 点、碎片 11 点

横道遺跡——ナイフ形石器(杉久保型) 5 点、ナイフ形石器(二側縁加工) 1 点、ナイフ形石器(先端截取) 2 点、彫刻刀形石器(神山型) 27 点、搔器 2 点、削器 3 点加工痕ある剥片 5 点石刃核 4 点、石刃技法接合資料 3 点、石刃 33 点、石核調整段階接合資料 1 点

平林遺跡——ナイフ形石器(11 点)、彫刻刀形石器 1 点、搔器 26 点、円形搔器 1 点、削器 7 点、厚形削器 2 点、ノッチ 3 点、鋸歯縁石器 1 点、チョッピングトオール 1 点、加工痕ある剥片 3 点、石核 4 点、石刃状剥片接合資料 1 点、石刃状剥片 5 点、細石刃 3 点、敲石 3 点

旧石器時代終末期～縄文時代草創期

東山紺野遺跡——尖頭器 3 点、搔器・削器・石刃・片刃石斧各 1 点

縄文時代早期

市野々向原遺跡——縄文土器 1 個体、縄文土器片 8 点

古屋敷遺跡——縄文土器片 8 点、早期～前期の石器(打製石器 37 点、磨製石斧 1 点、礫石器 12 点)

縄文時代前期

市野々向原遺跡——縄文土器片 7 点

墓窪遺跡——縄文土器片 22 点

野向遺跡——縄文土器片 4 点

縄文時代中期

谷地遺跡——縄文土器 6 個体、縄文土器片 7 点、中期前葉～中葉の石器（打製石器 29 点、磨製石斧 4 点、礫石器 10 点、他に常設展示室に石皿 2 点、磨石・凹石各 1 点）

千野遺跡——縄文土器 2 個体

野向遺跡——縄文土器 3 個体

市野々向原遺跡——縄文土器 2 個体

下野遺跡——常設展示室に縄文土器 5 個体、中期後葉の石器(打製石器 17 点、磨石石斧 1 点)

縄文時代後期

千野遺跡——縄文土器 9 個体、縄文土器片 3 点

下叶水遺跡——縄文土器 15 個体

縄文時代晩期

下叶水遺跡——縄文土器 18 個体、後期後半から晩期の石器（打製石器 88 点、磨製石斧 15 点、礫石器 15 点）、土偶 12 点、石棒 2 点、石剣 7 点、石刀 1 点、勾玉 1 点、有孔石製品 1 点、岩板 3 点、線刻礫 2 点、土錘 1 点、石錘 7 点、中空土製品 1 点、土版 1 点、円盤状土製品 2 点、円盤状石製品 3 点

弥生時代中期

市野々向原遺跡——弥生土器 1 個体、弥生土器片 3 点

展覧会の予告

👁️ 第 29 回企画展「山形県の近世城郭と出土品」

9 月 11 日(土)～12 月 5 日(日)

第 29 回企画展は「山形県の近世城郭と出土品」と題し、県内の近世城郭に焦点を当て、城下絵図とともに近世初頭までの出土品を展示することにいたしました。

第一章の館山城は、古くから伊達氏に関わる山城として知られていましたが、平成 22～26 年度にかけての発掘調査によって、伊達・上杉両氏に関わった城であることが分かってきました。今回はこの調査で報告された出土遺物をできる限り展示します。

第二章米沢城では、これまでに調査された二の丸・三の丸から出土した江戸初期までの出土品を、伊達期と上杉期に分けて展示します。

第三章の山形城は県内で最も調査回数の多い近世城館といえます。近世初頭の主に最上期を中心に、本丸・二の丸・三の丸の出土品をそれぞれ展示します。

第四章新庄城は、寛永 2 年（1625 年）戸沢政盛が築城した城で、創建時には本丸中央に三層の天守閣を備えた城だったと伝えられます。昭和 63 年の発掘調査、浚渫工事等で出土した瓦などを展示します。

第五章鶴ヶ岡城は武藤氏の築城と伝えられ、中世には大宝寺城と称されました。武藤氏滅亡後は上杉領期、最上領期を経て酒井氏の居城となります。今回は、武藤氏時代と考えられる中世の遺物から、混乱期である江戸初期までの遺物を展示します。

第六章亀ヶ崎城は、元は東禅寺城と呼ばれ、遊佐太郎繁元によって現在の場所に築城されたと伝えられる城です。後に武藤氏の城となり、鶴ヶ岡城同様上杉領期、最上領期

を経て酒井氏の城となります。今回は大量に発掘されている中世の遺物を中心に、関が原合戦前後の緊迫した情勢がうかがわれる木簡など多彩な遺物を展示します。

様々な資料を展示する予定です、ぜひ足を御運び下さい。

館主催事業の案内

👤 考古学への関心の裾野を広げる事業

● 館長講座 「小国町の考古学」を開催

7月の日曜日に2回に分けて解説・説明します。

第1回(7月4日(日)) 13:30~15:30

・旧石器時代の小国町

第2回(7月11日(日)) 13:30~15:30

・縄文時代の小国町

※新型コロナ感染予防対策として完全予約制で、現在参加者を募っています。まだ、10名以上の予約をお受けできます。

👤 第23期考古学セミナー

企画展のテーマに沿った考古学セミナーを開講し、企画展講演会も開催します。企画展の展示資料について理解を深めて頂くことを狙いとします。

講座のテーマ：「発掘調査でわかった山形県内の近世城郭と出土遺物」

第1回(9月26日(日))

・米沢城跡の発掘調査と出土遺物

米沢市教育委員会 菊地 政信 氏

・舘山城跡の発掘調査と出土遺物

米沢市教育委員会 佐藤 公保 氏

第2回(10月3日(日))

・山形城跡本丸跡・二ノ丸跡の発掘調査と出土遺物

山形市教育委員会 齋藤 仁 氏

・山形城跡三の丸跡(双葉町遺跡他)の発掘調査と出土遺物

山形市教育委員会 齋藤 仁 氏

第3回(10月17日(日))

・鶴ヶ城跡の発掘調査と出土遺物

(公財)山形県埋蔵文化財センター 菅原 哲文 氏

・亀ヶ崎城跡の発掘調査と出土遺物

(公財)千葉県教育振興財団 高桑 登 氏

※完全予約制となります。企画展開始予定の9月上旬から参加申し込みをお受けいたします。

企画展講演会

11月14日(日)

演 題 「近世城郭と石垣」

東北芸術工科大学 北野 博司 氏

※完全予約制となります。10月から参加申し込みをお受けする予定です。

♥ 自主事業

体験事業

ものづくりを通して考古学に関心を持ち、知識向上や達成感にもつながる体験事業を行います。

● 「勾玉・弓矢・石器をつくろう」

7月10日(土)・11月3日(火・祝日) に完全予約制で開催します。

※7月10日(土)開催分は現在参加者募集中です。電話で予約をお受けしています。

● 「大人の自由研究1ーカラムシから繊維をとるー」

7月17日(土)に繊維を取る作業を行い、希望者は12月4日(土)開催の布をつくろうに参加していただき、成果品の繊維を使って布を作ることができます。完全予約制で参加者を募ります。

※7月17日開催分は2週間前の7月3日から予約をお受けする予定です。

● 2回目の「赤ちゃんの手形をつくろう」 8月7日(土)～8月9日(月)

令和3年度2回目の「赤ちゃんの手形をつくろう」を開催いたします。4月に予告した8月10～12日開催の日程を前倒しすることと致しました。「山の日」の移動で3連休中の開催となります。5月に参加できなかった方を含め、5月同様、時間帯を指定した完全予約で参加者を募ります。予約開始日は1ヶ月前の7月7日(水)とし、予約可能な時間帯を当館ホームページ上で日々更新してお知らせします。

● 「ガラス玉をつくろう」

11月27日(土)に開催します。完全予約制となります。

● 「からむしで布をつくろう」(あんぎんをつくろう)

12月4日(土)に開催します。完全予約制となります。

● 「古代風プレスレットをつくろう」

12月4日(土)の2回開催します。完全予約制となります。

● 「大人の自由研究2ー塩引きをつくろー」

初めて開催する事業です。遊佐町に遡上したサケのオスを使い、新巻鮭を作ります。初日はヌメリを取り、内臓、エラを除去し、シオを塗り込む作業を行います。2日目は塩抜きをしたサケを洗い、干すまでの作業を行います。なお、初日の作業後、持ち帰ることもできますので、塩抜きから後の工程となる2日目は自由参加とします。

12月5日(日)・11日(土) 募集10名(新規事業)完全予約制となります。

東北情報館

感染症拡大防止のため、他地域との往来は充分ご注意ください
ようお願いいたします。



特別テーマ展 『小国町の考古学』

入館料 一般／200円 大学生／100円 高校生以下／無料
6月12日～9月5日 うきたむ風土記の丘考古資料館 TEL: 0238-52-2585



『慈恩寺一山を取り仕切った別当 最上院展』

入館無料 5月1日～10月31日 慈恩寺テラス TEL: 0237-84-6811



特別展 『1971 —やまはく誕生物語—』

入館料 一般／300円 大学生／150円 高校生以下／無料
6月5日～8月29日 山形県立博物館 TEL: 023-645-1111



テーマ展 『ある時代の台所』

入館料 一般／200円 小・中学生／100円
6月5日～9月20日 盛岡市遺跡の学び館 TEL: 019-635-6600



特別展 『古代エジプト展』

入館料 一般／1600円 高校・大学生／1400円 小・中学生／900円
7月9日～9月5日 仙台市博物館 TEL: 022-225-3074